

研究員 の眼

新NISAからの投信買付、底打ちか？ ～2024年5月の投信動向～

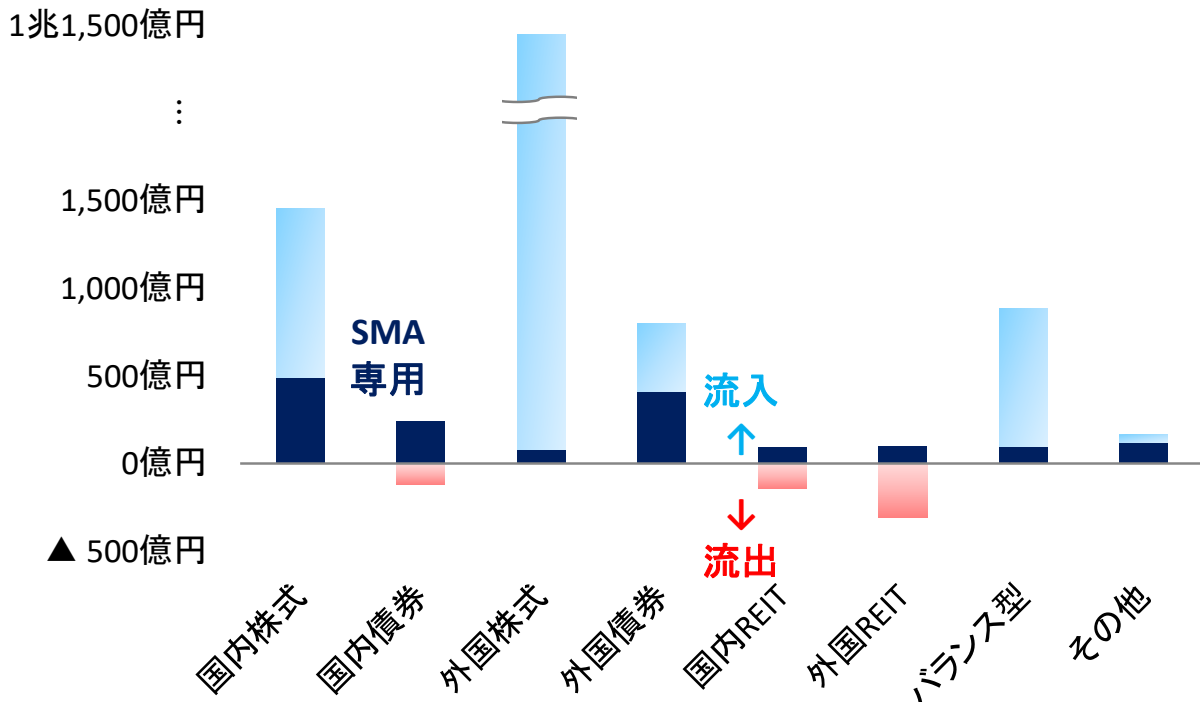
金融研究部 主任研究員 前山 裕亮
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

外国株式ファンドがよく売れた

2024年5月の日本籍追加型株式投信（ETFを除く。以降、ファンドと表記）の推計資金流出入をみると、外国株式ファンドに1兆1,500億円の資金流入があり、4月の9,500億円からさらに2,000億円も増え、販売は4月以上に好調であった【図表1】。

一般販売されている外国株式ファンドをタイプ別にみると、インデックス型に7,800億円、アクティブ型に3,500億円の資金流入があり、ともに4月の6,600億円、2,900億円から増加した。特にインデックス型の外国株式ファンドは久々の流入増であった。

【図表1】 2024年5月の日本籍追加型株式投信（除くETF）の推計資金流出入



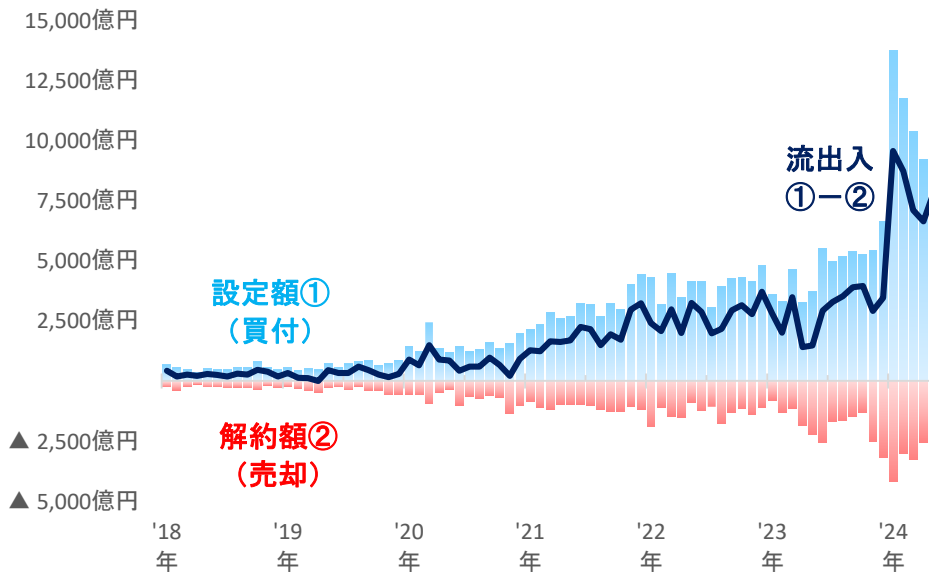
（資料）Morningstar Direct より作成。各資産クラスはイボットソン分類を用いてファンドを分類。

NISAからの買付がついに増加に転じた？

そもそも一般販売されているインデックス型の外国株式ファンドは2024年1月に買付（青棒）が倍増し流入（線グラフ）も急増したが、2月以降は買付が減少するとともに流入が細っていた【図表2】。これは、新NISAではつみたて投資枠だけでなく成長投資枠でもインデックス型の外国株式ファンドが中心商品となっており、成長投資枠からの買付が2月以降に減少したためだと推察される。

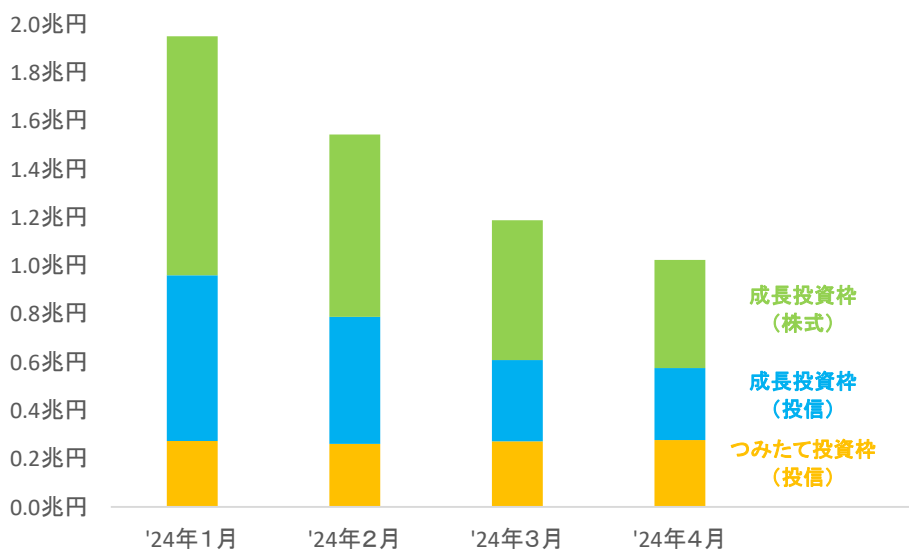
実際に証券会社10社（大手5社・ネット5社）のNISA口座からの買付状況を見ると、成長投資枠からの買付は1月に1兆6,700億円、そのうち投信が6,900億円程度あった【図表3】。それが4月は7,500億円、投信に限ると3,000億円と半分以下に減少している。特に2月、3月に買付の減少が顕著であり、既に1月、2月で成長投資枠を使い切った投資家が多いことがうかがえる。

【図表2】 一般販売されているインデックス型の外国株式ファンドの資金動向



(資料) Morningstar Direct より作成。SMA 専用ファンドは除外。

【図表3】 証券会社10社のNISA口座からの買付額



(資料) 日本証券業協会資料から作成。1月と2月単月の成長投資枠の内訳がないため、1月と2月は1、2月累積の内訳(比率)から株式、投信の金額を推計している。

それが5月はインデックス型の外国株式ファンドへの流入が1,200億円も増加しており、新NISAからの買付の減少が一服、もしくは増加に転じたのかもしれない。ただし、インデックス型の外国株式ファンドは2023年12月から解約（【図表2】赤棒）もそれ以前から倍増しており、5月は解約が一巡して結果的に純流入が増加したことも考えられる。いずれにしても、引き続き今後の新NISAの動向と合わせてインデックス型の外国株式ファンドと販売動向も注目したい。

アクティブ型はインド株式ファンドが売れた

また、アクティブ型の外国株式ファンドは2024年に入って資金流入の増加基調となっており、5月も増加額こそインデックス型より少なかったが増加し、2024年最大となった。毎月分配型の2本（赤太字）などが引き続き売れていたが、それに加えてインド株式ファンドも売れた【図表4】。「HSBC インド・インフラ株式オープン」（黄太字）を中心にインド株式ファンドに1,600億円の資金流入があり、4月の900億円から増加し、販売をけん引した。

元々、1年前くらいから人気を集めているインド株式ファンドであるが、6月4日のインド総選挙をにらんで買付が膨らんだのかもしれない。ただ、ネット販売が中心と思われるインデックス型のインド株式ファンドへの資金流入は5月が200億円程度と4月からほぼ横ばいであった。そのため、アクティブ型のインド株式ファンドが売れたのは5月に販売会社が推した面も大きそうである。

外国株式ファンド以外は概ね低調

外国株式ファンド以外だとバランス型ファンドに900億円の資金流入があり4月の600億円から300億円増加したが、増加は「あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2024-04」（【図表4】緑太字）によるところが大きかった。また、外国債券ファンドは一般販売されているものに限ると5月に資金流入に転じた。しかし、新設された「三井住友DS ワールド・ボンド・フォーカス 2024-05(限定追加型）」（【図表4】青太字）を除外すると引き続き資金流出していた。

その他、国内株式ファンドは一般販売されているものに1,000億円の資金流入があったが、4月の3,800億円と比べると2,800億円も減少した。4月は国内株式の急落に伴ってタイミング投資によりインデックス型中心に膨らんでいたが、5月は国内株式が小幅な値動きになる中、4月のように買いが入らなかった。さらに、外国REITファンド、国内REITファンド、国内債券ファンドにいたっては一般販売されているものに限ると4月から引き続き流出超過だった。特に内外REITファンドは4月以上に売却が膨らんだ様子である。

【図表4】2024年5月の推計純流入ランキング

| 順位 | ファンド名 | 運用会社 | 4月の流出入 | 5月の推計純流入 | 純資産5月末時点 |
|-----|--|-------------------|----------|----------|-----------|
| 1位 | eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー) | 三菱UFJアセットマネジメント | 1,810 億円 | 2,014 億円 | 34,300 億円 |
| 2位 | eMAXIS Slim 米国株式(S&P500) | 三菱UFJアセットマネジメント | 1,509 億円 | 1,612 億円 | 45,773 億円 |
| 3位 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信D毎月(ヘッジなし)予想分配金提示 | アライアンス・バーンスタイン | 982 億円 | 1,027 億円 | 28,124 億円 |
| 4位 | 三井住友DS ワールド・ボンド・フォーカス2024-05(限定追加型) | 三井住友DSアセットマネジメント | --- | 606 億円 | 605 億円 |
| 5位 | インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジなし)(毎月決算型) | インベスコ・アセット・マネジメント | 500 億円 | 566 億円 | 14,097 億円 |
| 6位 | HSBC インド・インフラ株式オープン | HSBC アセットマネジメント | 244 億円 | 540 億円 | 2,516 億円 |
| 7位 | フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし) | フィデリティ投信 | 206 億円 | 320 億円 | 8,410 億円 |
| 8位 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし) | アライアンス・バーンスタイン | 265 億円 | 305 億円 | 12,929 億円 |
| 9位 | あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2024-04 | あおぞら投信 | 119 億円 | 303 億円 | 422 億円 |
| 10位 | フィデリティ・新興国中小型成長株投信 | フィデリティ投信 | 840 億円 | 274 億円 | 1,113 億円 |

(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA・DC 専用ファンドは除く。

それもあって5月はファンド全体で見ると1兆4,600億円の資金流入があったが、2024年最大だった4月の1兆5,300億円からは700億円減少した。

ハイテク系のテーマ型株式ファンドの一部が好パフォーマンス

5月は半導体関連などハイテク系のテーマ型株式ファンドの一部（赤太字）が高パフォーマンスだった【図表5】。

【図表5】2024年5月の高パフォーマンス・ランキング

| 順位 | ファンド名 | 運用会社 | 5月の 収益率 | 過去1年 収益率 | 純資産 5月末時点 |
|-----|--|-----------------|------------|-------------|--------------|
| 1位 | eMAXIS Neo クリーンテック | 三菱UFJアセットマネジメント | 17.8% | -10.1% | 26億円 |
| 2位 | 野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資) | 野村アセットマネジメント | 12.5% | 90.4% | 3441億円 |
| 3位 | NASDAQ100トリプル(マルチアイ搭載) | 大和アセットマネジメント | 11.4% | 57.1% | 70億円 |
| 4位 | One/フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド(成長型) | アセットマネジメントOne | 10.6% | --- | 229億円 |
| 5位 | One/フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド隔月決算・予想分配金提示 | アセットマネジメントOne | 10.5% | --- | 88億円 |
| 6位 | フィデリティ・欧州中小型株・オープン Bコース(為替ヘッジなし) | フィデリティ投信 | 9.0% | 29.9% | 114億円 |
| 7位 | 野村日本ブランド株投資(トルコリラコース)毎月分配型 | 野村アセットマネジメント | 8.7% | 33.8% | 25億円 |
| 8位 | <購入・換金手数料なし>ニッセイSOX指数インデックスファンド(米国半導体株) | ニッセイアセットマネジメント | 8.5% | 64.0% | 304億円 |
| 9位 | インデックスファンドSOX指数(米国上場半導体株式) | 日興アセットマネジメント | 8.4% | --- | 53億円 |
| 10位 | 東京海上・再生可能エネルギー・インカム戦略ファンド(毎月決算型) | 東京海上アセットマネジメント | 8.4% | 8.1% | 15億円 |

(資料) Morningstar Direct より作成。2024年5月末残高が10億円以上のETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

(ご注意) 当資料のデータは信頼ある情報源から入手、加工したものです。その正確性と完全性を保証するものではありません。当資料の内容について、将来見解を変更することもあります。当資料は情報提供が目的であり、投資信託の勧誘するものではありません。